

令和7年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和6年11月14日

上場会社名 株式会社ユニバーサル園芸社
 コード番号 6061 URL <https://www.uni-green.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
 配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 安部 豪
 (氏名) 野呂 千佳子
 TEL 072-649-2266

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年6月期第1四半期の連結業績(令和6年7月1日～令和6年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年6月期第1四半期	4,136	31.3	230	6.6	113	58.5	19	87.6
6年6月期第1四半期	3,150	5.6	246	37.4	272	34.6	154	42.4

(注) 包括利益 7年6月期第1四半期 82百万円 (56.2%) 6年6月期第1四半期 188百万円 (37.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年6月期第1四半期	4.11	
6年6月期第1四半期	32.88	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
7年6月期第1四半期	14,715	12,031	81.6
6年6月期	15,319	12,063	78.5

(参考) 自己資本 7年6月期第1四半期 12,001百万円 6年6月期 12,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年6月期		0.00		25.00	25.00
7年6月期					
7年6月期(予想)		0.00		25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和7年6月期の連結業績予想(令和6年7月1日～令和7年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,109	41.1	1,031	39.2	1,054	38.9	604	47.2	129.84
通期	20,612	22.3	2,700	13.8	2,745	9.4	1,782	8.9	383.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	7年6月期1Q	5,025,000 株	6年6月期	5,025,000 株
期末自己株式数	7年6月期1Q	372,790 株	6年6月期	372,749 株
期中平均株式数 (四半期累計)	7年6月期1Q	4,652,237 株	6年6月期1Q	4,704,296 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競争状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクの不安定要因により、実績の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。なお、業績予測に関する事項は、決算短信 (添付資料) 4ページ「1.経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前年同四半期連結累計期間に係る各数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復が続いております。物価上昇の影響により若干の足踏みが見られるものの個人消費も持ち直し傾向となりました。一方、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、円安によるエネルギー資源や原材料価格の高騰などにより、個人消費の停滞が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは主力事業であるグリーン事業において、国内のレンタルグリーンの契約は計画通り推移したものの前期のM&Aにおけるのれん償却費用が増加しました。卸売事業につきましては植物及び植物関連商材の需要が一服し、主に人件費の増加を売上が計画を下回り、小売事業につきましては既存店舗におけるグリーン関連のコロナ禍による巣ごもり需要のゆるやかな低下が止まらず、燃料費・電気料等の資源・エネルギー価格上昇や人件費の増加の費用を吸収できませんでした。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,136,118千円（前年同四半期比31.3%増）、営業利益は230,616千円（同6.6%減）、経常利益は前期末から第1四半期末において為替が急激に円高に振れたことにより為替差損が131,991千円発生し、113,038千円（同58.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19,127千円（同87.6%減）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、各セグメントの経営成績の数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

[グリーン事業]

グリーン事業につきましては、国内のレンタルグリーンの契約は計画通り推移したものの、前期のM&Aにおけるのれん償却費用が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は2,675,426千円（前年同四半期比16.4%増）、営業利益は327,553千円（同11.6%増）となりました。売上高営業利益率は、関東エリアは16.8%（前年同四半期15.3%）、関西エリアは23.4%（同23.0%）、海外エリアは△8.5%（同△1.2%）となりました。

[卸売事業]

卸売事業につきましては、植物及び植物関連商材の需要が一服し、売上が計画を下回り、人件費の増加を吸収しきれなかったため、減収減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は316,818千円（前年同四半期比1.4%減）、営業利益は8,991千円（同54.2%減）となりました。

[小売事業]

小売事業につきましては、連結子会社の増加により売上高は増加となりましたが、既存店舗におけるグリーン関連のコロナ禍による巣ごもり需要のゆるやかな低下が止まらず、燃料費、電気料等の資源・エネルギー価格上昇や人件費の増加の費用を吸収できず増収減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,255,960千円（前年同四半期比101.6%増）、営業損失は120,820千円（前年同四半期は営業損失79,021千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は14,715,821千円となり、前連結会計年度末に比べて603,645千円の減少(3.9%減)となりました。

このうち流動資産は7,090,022千円となり、前連結会計年度末に比べて564,321千円の減少(7.4%減)となりました。これは主に有価証券が100,370千円増加したものの現金及び預金が282,556千円並びに受取手形及び売掛金が408,650千円減少したことによるものであります。また、固定資産は7,625,798千円となり、前連結会計年度末に比べて39,323千円の減少(0.5%減)となりました。これは主にのれんが71,236千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,684,314千円となり、前連結会計年度末に比べて571,663千円の減少(17.6%減)となりました。これは主に買掛金が62,531千円、未払法人税等が364,259千円減少及び長期借入金が85,650千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は12,031,507千円となり、前連結会計年度末に比べて31,981千円の減少(0.3%減)となりました。これは主に、利益剰余金が97,178千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在におきましては、令和6年8月14日に発表した連結業績予想を変更しておりません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,339,127	4,056,571
受取手形及び売掛金	2,083,669	1,675,019
有価証券	199,885	300,256
商品及び製品	719,159	693,496
原材料及び貯蔵品	12,913	11,628
その他	352,164	395,954
貸倒引当金	△52,575	△42,904
流動資産合計	7,654,344	7,090,022
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,202,373	1,202,373
その他	4,316,966	4,339,627
減価償却累計額	△2,628,678	△2,624,026
その他(純額)	1,688,288	1,715,601
有形固定資産合計	2,890,661	2,917,974
無形固定資産		
のれん	1,846,326	1,775,090
その他	377,785	376,193
無形固定資産合計	2,224,112	2,151,283
投資その他の資産		
投資有価証券	1,201,586	1,201,504
繰延税金資産	392,206	393,819
投資不動産	521,994	521,994
減価償却累計額	△163,784	△165,755
投資不動産(純額)	358,209	356,238
その他	599,252	605,872
貸倒引当金	△906	△895
投資その他の資産合計	2,550,348	2,556,540
固定資産合計	7,665,122	7,625,798
資産合計	15,319,466	14,715,821

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和6年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	633,697	571,165
1年内返済予定の長期借入金	3,420	—
未払法人税等	506,419	142,160
リース債務	131,479	147,146
その他	930,554	862,402
流動負債合計	2,205,570	1,722,875
固定負債		
長期借入金	85,650	—
退職給付に係る負債	244,742	249,420
長期未払金	207,594	207,533
リース債務	263,350	260,224
資産除去債務	210,667	214,720
繰延税金負債	19,843	10,981
その他	18,558	18,558
固定負債合計	1,050,407	961,438
負債合計	3,255,978	2,684,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,770	172,770
資本剰余金	122,488	122,488
利益剰余金	12,211,250	12,114,071
自己株式	△606,966	△607,126
株主資本合計	11,899,543	11,802,204
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	133,509	199,253
その他の包括利益累計額合計	133,509	199,253
非支配株主持分	30,435	30,049
純資産合計	12,063,488	12,031,507
負債純資産合計	15,319,466	14,715,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年7月1日 至 令和5年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年7月1日 至 令和6年9月30日)
売上高	3,150,990	4,136,118
売上原価	1,245,151	1,611,681
売上総利益	1,905,838	2,524,437
販売費及び一般管理費	1,658,905	2,293,820
営業利益	246,933	230,616
営業外収益		
受取利息	4,261	7,890
投資不動産賃貸料	9,088	9,094
為替差益	9,540	—
その他	8,792	8,960
営業外収益合計	31,682	25,944
営業外費用		
支払利息	1,663	4,291
不動産賃貸原価	3,608	3,584
為替差損	—	131,991
その他	1,115	3,656
営業外費用合計	6,386	143,523
経常利益	272,228	113,038
税金等調整前四半期純利益	272,228	113,038
法人税等	117,121	95,996
四半期純利益	155,107	17,041
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	417	△2,086
親会社株主に帰属する四半期純利益	154,690	19,127

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年7月1日 至 令和5年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年7月1日 至 令和6年9月30日)
四半期純利益	155,107	17,041
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	33,700	65,744
その他の包括利益合計	33,700	65,744
四半期包括利益	188,807	82,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,659	83,171
非支配株主に係る四半期包括利益	1,148	△386

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法としております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和5年7月1日 至 令和5年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
レンタルグリーン	504,935	271,892	248,254	1,025,083	—	—	1,025,083	—	1,025,083
グリーンサービス	634,980	270,641	364,060	1,269,682	—	—	1,269,682	—	1,269,682
卸売	—	—	—	—	233,209	—	233,209	—	233,209
小売	—	—	—	—	—	623,014	623,014	—	623,014
顧客との契約から生じる収益	1,139,915	542,534	612,315	2,294,765	233,209	623,014	3,150,990	—	3,150,990
外部顧客への売上高	1,139,915	542,534	612,315	2,294,765	233,209	623,014	3,150,990	—	3,150,990
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,402	1,318	—	3,721	88,093	116	91,930	△91,930	—
計	1,142,318	543,853	612,315	2,298,487	321,302	623,130	3,242,921	△91,930	3,150,990
セグメント利益又は損失(△)	175,129	125,331	△6,904	293,556	19,618	△79,021	234,153	12,779	246,933

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額12,779千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であり
ます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

グリーン事業において、Innergreen, Inc. から植物オフィス向けデザイン・販売・メンテナンス事業を譲り受けたこと、また、泰成緑栄株式会社の発行済株式のすべてを取得して子会社化したことに伴い、のれんが453,290千円増加しております。なお、のれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映されております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和6年7月1日 至 令和6年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
レンタルグリーン	561,686	304,754	320,733	1,187,175	—	—	1,187,175	—	1,187,175
グリーンサービス	841,286	314,916	325,071	1,481,275	—	—	1,481,275	—	1,481,275
卸売	—	—	—	—	211,708	—	211,708	—	211,708
小売	—	—	—	—	—	1,255,960	1,255,960	—	1,255,960
顧客との契約から生じる収益	1,402,973	619,671	645,805	2,668,450	211,708	1,255,960	4,136,118	—	4,136,118
外部顧客への売上高	1,402,973	619,671	645,805	2,668,450	211,708	1,255,960	4,136,118	—	4,136,118
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,600	4,376	—	6,976	105,109	—	112,086	△112,086	—
計	1,405,573	624,047	645,805	2,675,426	316,818	1,255,960	4,248,205	△112,086	4,136,118
セグメント利益又は損失(△)	235,977	146,301	△54,724	327,553	8,991	△120,820	215,724	14,892	230,616

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額14,892千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であり
ます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年7月1日 至 令和5年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年7月1日 至 令和6年9月30日)
減価償却費	69,102千円	78,925千円
のれんの償却額	26,301千円	68,938千円